

UVインキ

UV 耐摩 マットOPニス CS

『UV 耐摩 マットOP ニス CS』はオフセット平版で利用される艶消し用紫外線硬化型 OP ニスです。マット剤、ビヒクル成分の改良によりブランケットやローラーへのマット剤残りを極限まで低減し、刷り易さや作業効率の向上を追求した新型のマット OP ニスです。

■ 特徴

- ▶ ブランケット、ローラーへのマット剤堆積を大幅に低減しております。
- ▶ 耐摩擦性に優れたマット OP ニスです。
- ▶ UV 硬化性に優れています。
- ▶ 油性インキ上は使用できません。

■ 一般性状

タック値	FLOW 値(D60)	すべり角(印刷物)	光沢値
4.0～4.5	40±3mm	20° 前後	13～15

* タック : インコメーター(水温:38°C、400rpm、1分値)

* フロー : スプレッドメーター(室温:25°C、1分後の拡がり直径[mm])

* 光沢値 : OKトップコートプラス紙上 0.100cc/2 分割ロール展色物測定

■ 使用上の注意

- ▶ ニスの盛り過ぎにはご注意ください。盛り量を抑えた方がより高いマット効果が得られます。
 - ▶ オンウェットの印刷条件では、マット効果が出にくい場合がありますので、そのような場合には、下地インキを UV 硬化させた後にマット OP ニスをご使用下さい。
 - ▶ 箔押し適性・糊付け加工は条件により適さない場合がございます。予め試験してご確認ください。
 - ▶ 下地が油性インキの場合は使用できません。
 - ▶ 滑り角や光沢はニスの盛り量・乾燥状態・原反の種類・温湿度等の要因により変化しますので、目安として下さい。
 - ▶ インキ盛り過ぎやランプ劣化により、硬化不良・密着不良の原因となります。ご注意ください
 - ▶ 人体に影響ないように考慮して設計しておりますが、皮膚・衣類等にインキが付着したまま長時間放置いたしますと、人によってカブレを生じる場合があります。作業時の保護具の着用、作業後の手洗い等ご配慮下さい。
 - ▶ 目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い流し、眼科医の手当を受けて下さい。皮膚に付着した場合には、汚染された衣服や靴等の汚れを落としたのち、付着部または接触部を石鹼水で洗浄し、多量の水を用いて洗い流して下さい。もし皮膚に炎症やかゆみを生じた場合は、直ちに医師の手当を受けて下さい。
- ▶ 記載のデータは、当社の試験方法による実測値であり、規格値ではありません。ご使用に際しては、貴社使用条件に適合するかを必ずご確認ください。なお、本文中の用途はいかなる特許に抵触しないことを保証するものではありません。
- ▶ 製品改良のため、予告なく内容を変更することがあります。
- ▶ 製品使用の際は、必ず事前に製品安全データシート(MSDS)をご一読願います。

- ▶ インキ取り扱い時、火気に注意し、作業場は換気を十分に行い、紫外線や直射日光を避けて取り扱って下さい。吸い込んだり、目、皮膚及び衣類に触れたりしないように適切な保護具を着用願います。作業衣等に付着した場合は、直ちにその汚れを落とし着替えて、汚れ部分が長時間接触することを避けて下さい。取り扱い後は手洗いとうがいを十分に行って下さい。
- ▶ ご使用に際しては、『製品安全データシート』を参照願います。



2020/1/17 No.W-2

- ▶ 記載のデータは、当社の試験方法による実測値であり、規格値ではありません。ご使用に際しては、貴社使用条件に適合するかを必ずご確認願います。なお、本文中の用途はいかなる特許に抵触しないことを保証するものではありません。
- ▶ 製品改良のため、予告なく内容を変更することがあります。
- ▶ 製品使用の際は、必ず事前に製品安全データシート(MSDS)をご一読願います。